



# 風



## 令和6年度 教育活動に関するアンケート（学校評価）結果について

初春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年末にご協力をいただきました「教育活動に関するアンケート」では、貴重なご意見をいただき心より感謝申し上げます。結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせいたします。職員一同、結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かすよう努力していく所存です。1月31日の第2回学校評議員会におきまして、今回の学校評価の結果を踏まえ、次年度に向けた本校の課題や改善点についてご報告させていただきます。今後とも保護者の皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

### 1 学校評価の実施について

- 実施時期 11月
- 対象 蘇我小学校全児童、全保護者、全教職員、全学校評議員

### 2 学校教育目標について

学校教育目標 …「学ぶ愉しさを知り、なかよく、ねばり強い子供の育成」

— 土の子 風の子 太陽の子 —

- めざす子ども像…土の子 確かな学力を身に付けた子（知）
- 風の子 心と体を自ら鍛え、たくましい子（体）
- 太陽の子 温かく、思いやりのある子（徳）

**重点** じっくり あいさつができる そがっこ

めざす学校像（児童） …わくわく登校、いきいき活動、にこにこ下校

### 3 アンケート結果から

#### (1) 肯定的な回答（そう思う・ややそう思う）から

- 「いじめをせず、仲良く遊んだり協力したりしている」の項目では、児童・保護者・教職員ともに90%以上が、「きまりを守って生活をしている」の項目では児童・保護者の87%以上が肯定的な回答をしている。学校が安心・安全な場所であり、生徒指導上の問題に組織として取り組んでいる結果だと考えられる。また、「学校や学級で楽しく過ごしている」と感じている保護者の割合は95%と非常に高く、学校のきまりが守られるからこそ、児童が楽しく過ごせるという好循環を生み出しているのではないだろうか。引き続き、いじめ等の生徒指導上の問題には、学校全体で毅然と対応しながらも、児童一人一人の個性を生かしたきめ細やかな教育を行っていくことが重要であると考え。

#### (2) 否定的な回答（あまり思わない・思わない）から

- 「自分の思いや考えをわかりやすく伝えている」では、児童27%、保護者38%、教職員62%が否定的な回答をしており、全項目の中で最も高い数値の一つである。令和5年度も同様の傾向が見られたことから、依然として自分の考えや情報を発信する力に課題が残っていると考えられる。能動的に活動しながらも、自分で表現しながら学ぶ機会を十分に確保することが必要であると考え。

#### (3) 児童・保護者・教職員の差が大きいもの

- 「自分からあいさつをしている」の項目では、児童79%、保護者62%、教職員が34%と、約20～30%ずつ肯定的な回答が減っている。令和5年度も同様の差が見られたことから、それぞれの立場で考える「よいあいさつの在り方」に依然として差異があると思われる。保護者・学校・地域が連携を密にしながら、学校として「目指すあいさつ」をより明確に発信し続けることで、児童のあいさつへの意識を向上させていきたいと考える。

#### (4) 全体的な回答から

- 学校評価の数値を見る限りでは、各項目において令和5年度と大きな変化はなく、状態が安定しているとも、固定化しているとも言える。よりよい方向への変化を促進するためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠である。児童を中心に、同じ目標に向かって進んでいくためにも、情報発信を積極的に行っていくことが重要であると考え。